

スタンダード・アンド・プアーズ、エジプトをクレジット・ウォッチ・ネガティブから外す  
加えて、外貨建ておよび自国通貨建てのソブリン格付を据え置きで確認

スタンダード・アンド・プアーズ・レーティングス・サービシズ(S&P)はエジプトの長期および短期の外貨建ておよび自国通貨建てのソブリン格付を「B/B」と確認した。同時にS&Pは、6/25 からクレジット・ウォッチ・ネガティブとしていた同国の格付けをクレジットウォッチから外した。アウトルックはネガティブ。外国為替規制リスク評価(T&C評価)はソブリン格付けと同じ「B」である。無担保外貨建て債務の回収格付けは「3」に据え置かれ、S&Pがデフォルトの場合の回収率を50-70%と見通していることを示している。

- 格付けの確認は軍隊と主要政治グループのムスリム同胞団との協力関係が徐々に実現しているというS&Pの判断を反映しており、S&Pはこれが中期的な政策決定の改善につながるとみている。したがって、S&Pはエジプトの低調な公的財政と対外収支が安定する可能性があると思通している。
- ネガティブ・アウトルックは、政治的または社会的な緊張がふたたび高まって格下げされる確率を3分の1とするS&Pの見方を反映している。その場合、現在の短期的な政策決定手法が続くことになり、外国からの追加的な寄付を受けない限り外貨準備はさらに減少する可能性が高い。
- S&Pは6/25に、エジプトの長期外貨建ておよび自国通貨建てソブリン格付けをクレジット・ウォッチ・ネガティブとしていた。それは6/14の議会解散を受けて軍最高評議会(SCAF)とイスラム政治グループの緊張が高まったと判断していたからである。当時、S&Pはそれらの緊張が高まり、経済的、財政的、対外的な課題に対して当局が有効に対応できない状況が長引くと考えていた。また、それが主要経済、対外指標をさらに悪化させる一方、支援国および多国籍融資機関の支援姿勢を損なう可能性もあった。しかし、その後の展開で今回選出されたモハメド・モルシ大統領はS&Pの理解によれば行政と立法の完全な権限を獲得した。S&Pは現在、向こう数ヶ月間について比較的安定的になると見通している。

情報提供：ロイター、ダウ・ジョーンズ

■当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性について弊社が保証するものではありません。当資料に掲載されている数値、図表は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果および市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は投資家の皆様にエジプト市場のご理解を高めて頂くために作成した資料であり、証券取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。また、特定ファンドの勧誘、販売を目的としたものではありません。■当資料は本来の受信者の社内用途のためだけに提供されています。本資料のいかなる部分も、弊社の事前の書面による同意を得ることなく、その内容の全部または一部を許可なく使用、発信、配布または複写することを固く禁じます。